

岩手県政150周年記念 ～岩手県のお菓子の魅力～

## 岩手県菓子工業組合



|         |                                                   |         |         |
|---------|---------------------------------------------------|---------|---------|
| 住 所     | 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目9番1号 マリオス3階いわて観光経済交流センター内 |         |         |
| ホームページ  | http://iwate.sweetsplaza.com                      | S N S   | —       |
| 設 立     | 昭和36年5月                                           | 主 な 業 種 | 製造業     |
| 組 合 員 数 | 127人                                              | 出 資 金   | 3,222千円 |

## ■背景・目的

菓子業界は、コロナ禍による外出自粛や冠婚葬祭等イベントの中止により土産需要が激減したことに加え、原材料価格の高騰や後継者不足等の諸課題も深刻であり、事業縮小や廃業が相次いでいた。こうした中、令和4年以降は観光業が復興の兆しを見せ、盛岡市が世界的に注目されるなど旅行者数は増加した。また、令和8年度までの5年間で岩手県政150周年記念期間であることを受け、同周年を広く周知するとともに、新規需要開拓を図るべく「県政150周年記念スイーツ」企画を立案した。

## ■取組みの手法と内容

県政150周年記念スイーツ企画の中核となる新商品開発では、組合員向けの商品開発セミナーとして「県産米粉」活用の技術講習会を開催。専門家から得た知見をもとに、希望する15社が新商品のレシピ開発に取り組んだ。続いて、令和5年度「組合まつり IN TOKYO」へ出展し、県政150周年のPRに併せて来場者204名への岩手県や菓子に関する市場調査を実施。さらに、盛岡市内では一般消費者や学生を対象とした試食会も開催され、本企画は岩手県との連携事業であることから、岩手県知事も出席するなど県全域からの注目を集めた。これらの調査結果を反映して完成させた参画15社それぞれの記念スイーツを、オリジナル新聞の発行や岩手日報への全面広告掲載で広く周知した結果、組合のみならず各社へ直接問い合わせが入るなど、大きな反響を呼んだ。

令和6年度には、参画114社を紹介するパンフレットを制作。県知事と組合理事長の記念対談記事を掲載するなど、継続的な地元菓子店の魅力発信に注力している。

## ■成果とその要因

組合が中心となり15社が特色ある新商品を開発したことで、大手企業との差別化に成功。効果的な広報活動により地域菓子業界の魅力を広く発信できたほか、専門学校での出前授業や学生の試食会招待といった取組みで業界への関心を高め、将来の人材確保につながる波及効果を生んだ。



岩手県知事参加の記念スイーツ試食会の様子



開発した新スイーツの紹介チラシ



「県政150周年」を盛り上げるべく県知事からの協力を得られたほか、厚労省の助成金や本会の支援施策を効果的に活用したことが大きな成果につながった。